

授業計画（シラバス）

■科 目	歯科保健指導 I	■講師名	君島 茜
I 部 1 学年	通年 3 5 コマ (1 コマ 90 分授業)	総時間 70 時間	講義 4 単位
■学修概要	<p>歯科衛生士業務の1つである歯科保健指導を、ブラッシング指導や栄養指導など講義や実習を通して保健指導を行うために必要な技法を実践的に習得する。多様な対象者に対して専門的立場から口腔の健康維持・増進について助言と支援を行うために必要な知識と技術を習得する。</p>		
■授業目的、到達目標	<p>歯科保健指導を実施する上で必要な器具や方法などの基礎知識を習得する。さまざまな生活習慣・生活環境・健康状態の対象者を理解し、対象者に見合った歯科保健指導を行うための知識と技術を習得する。</p>		
■授業方法	<p>講義 試験 実習</p>		
■教科書（書籍名・著者・出版社）	<p>歯科衛生学シリーズ／歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版</p>		
■成績評価・講義上の注意	<p>総合評価（授業態度、出席状況、提出物、定期試験等）</p>		
■実務経験	<p>一般歯科・小児歯科・障害者歯科・訪問歯科・有病者歯科での臨床経験がある歯科衛生士の立場から、本教科において必要な知識と技術を伝える。</p>		
■授業計画（講義の流れ）			
1	歯科保健指導総論		
2			
3	歯科保健指導の概要		
4			
5	口腔の基礎知識		
6			
7			
8	齲蝕と歯周病の基礎知識		
9			
10	食生活指導のための基礎知識		
11			
12			
13	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理		
14			
15			

授業計画（シラバス）

16	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理
17	
18	中間試験
19	分析のためのデータ
20	
21	
22	口腔衛生管理に関わる指導
23	
24	
25	口腔機能管理に関わる指導
26	
27	生活習慣の指導
28	
29	歯科衛生過程（歯科衛生過程を進めるにあたり必要な考え方）
30	歯科衛生過程の進め方（歯科衛生過程の概念・歯科衛生アセスメント）
31	歯科衛生過程の進め方（歯科衛生診断・歯科衛生計画立案）
32	歯科衛生過程の進め方（歯科衛生介入・書面化）
33	歯科衛生過程の進め方（歯科衛生評価・演習）
34	災害時の歯科保健医療
35	期末試験